



さかさ 逆川ともいわれる「亀成川」 橋が多く架かり自然の魅力満載！

印西市は、手賀沼、印旛沼と利根川の三方に囲まれて、県内でも豊かな水資源を持つ地域といわれていますが、今回は、私の好きな市内に流れる川「亀成川」のレポートです。



「もとの橋」から「めじろ橋」と
稲穂田を望む

亀成川は「牧の原公園」調整池を水源とし、北西へ流れる長さが7kmほどの河川で、手賀沼から流れてくる下手賀川に合流後、手賀川、さらに利根川に合流します。合流する利根川とは逆方向に流れていることから、逆川とも呼ばれています。

今回、数回に分けて、シルバー夫婦で車と散歩で見て回りましたが、そばに水神社と巖嶋神社がある「水神橋」の水

また、川に架かっている橋の多さに改めて驚きました。水源から最初に架かる「もとの橋」を始め「逆川橋」、「ほたる橋」、「亀成橋」など、下手賀川に合流する手前の「下前川橋」まで全部で22ありました。

水辺に生える草木、時に顔を出すカメや泳ぐ鳥、釣り人、周辺の田んぼの田植えから稲刈りまでの移り変わり、私は毎年見ても飽きることがありません。

本紙掲載時には、周辺が稲刈り後の景色。興味のある人は、水辺や周辺景色を眺めながらの橋巡りをしてみませんか。



広報レポーター

田中 謙一郎 (小林浅間)



水辺でカメの出迎え「水神橋」から



水源の「牧の原公園」調整池